

令和7年9月1日発行



見附中学校

前期学校評価だより

<入学式>



<授業参観>



<定期テスト>



<防災学習(1年生)>



<職場体験(2年生)>



<上級学校訪問(3年生)>



<中越地区大会(女子ソフトテニス部)>



<見附まつり 民謡流し>



<畑ボランティア>



見附中学校では令和7年度、学校経営方針【未来を共に創る～仲間と共に 保護者と共に 地域と共に 教師と共に～】、友和会スローガン【昇～見附と繋がり 共に高まる見中～】のもと、<知>、<徳>、<健>の3部会で様々な活動に取り組んできました。

この度、1学期末に行ったアンケート結果をもとに、取組の総括と今後の方針を紹介する「前期学校評価だより」を発行いたします。ぜひご覧いただき、見附中学校の生徒たちの明るい未来に向けて、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

<知>仲間と共に、深く学ぶ

今までの取組

目的に応じてアナログとデジタルを有効活用しながら、仲間と共に学び、多面的な考え方を身につけ、深い学びへとつなげています。終学活では、授業の振り返りやテーマに沿ったスピーチをペアで行い、対話を大切にしています。教科ごとに単元構想の工夫や魅力ある課題設定に力を注いできました。



アイディアの表出



デジタルの有効活用

アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 課題に対して意欲的に調べたり、話し合ったり、工夫して表現・制作したりすることができた生徒の割合	90%以上	98%	A	<p>できた：64.9%</p>
2 課題を解決するために、chromebook や友達との話し合いを有効に使用した生徒の割合	90%以上	96%	A	<p>できた：73.7%</p>
3 課題に対して自分の考えをもち、意欲的に取り組むことができた生徒の割合	90%以上	97%	A	<p>できた：63.4%</p>
4 授業中に「やってみたい」「考えてみたい」「話し合ってみよう」と感じられる課題を追求することができた生徒の割合	85%以上	92%	A	<p>できた：55.6%</p>
5 単元の振り返りで、新しく分かったこと、できるようになったことを自覚することができた生徒の割合	85%以上	96%	A	<p>できた：70.2%</p>

分析と今後の方針

すべての項目で目標値を上回り、A評価でした。多くの生徒が授業に前向きに取り組み、仲間と共に学び合い、課題に挑戦しようとしていることがわかりました。この姿勢を継続していくと、自分にとってプラスの影響が出てきます。全校一丸となって、学習に取り組む雰囲気をつくっていきます。

第2回定期テストは9月に行われます。自分自身の生活を振り返り、今やるべきことを考えて、行動していけるように支援をしていきます。

<徳> 自他共に尊重し、高め合う

今までの取組

互いのよさを見つけて伝え合うことで自己肯定感を高める活動「ジブサガ」を行いました。地域とのつながりを深めるために、友和会事務局からボランティアバンクへの登録を呼びかけたり、地域コミュニティから依頼されたボランティアに参加したりしています。

また、学校運営協議会には友和会の本部役員生徒が参加し、地域の方と課題を協議しています。昨年度から引き続きさつまいもの栽培を行っており、今年度は畑を拡充し、6月には昨年倍の苗を植えました。さらに、全校生徒で苗植えや水やりを分担して行い、多くの生徒が共に活動しています。今年度は新たな挑戦として、さつまいもの商品化を目指しています。友和会事務局を中心に、全校生徒にアンケートで意見を募ったり、地域の方と協議したりしながら準備を進めています。

ジブサガ



さつまいも苗植え



アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の住んでいる地域や見附に愛着を持っている生徒の割合	90%以上	93%	A	<p>もっている : 69.3%</p>
2 人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合	90%以上	98%	A	<p>思う : 80.5%</p>
3 自分にはよいところがあると思う生徒の割合	90%以上	87%	B	<p>思う : 50.2%</p>
4 友達の良さを理解し、認め合って活動できた生徒の割合	90%以上	98%	A	<p>できた : 77.1%</p>
5 自分が成長できたと感じた生徒の割合	90%以上	94%	A	<p>できた : 62.4%</p>

分析と今後の方針

項目1、2、4、5がA評価となりました。地域や仲間と共に畑づくりを進めたこと、ボランティアへ参加したこと、生徒が主体的に活動を企画・運営したことが結果につながっていると考えられます。一方、項目3はB評価でした。「自分の成長を実感できた」と回答していても、「自分にはよいところがある」と実感できない生徒もいるのが現状です。

2学期に実施される運動会やMMF等の学校行事、また「ジブサガ」をはじめとする互いの良さを認め合う活動を通して、引き続き生徒の自己肯定感を育てていきます。ご家庭でも、お子さんの頑張る姿を応援し、良いところをたくさんほめていただければ幸いです。

<健>自分に向き合い、自ら高める

今までの取組

昨年度に引き続き、毎日の生活を「健幸」で価値あるものにマネジメントできる力を育成するため、「マネジメントシート」に取り組んでいます。今年は新たに、「マネジメント強調週間」を設け、その期間中、自分の生活を振り返り、より良いものにするための活動を行いました。ご家庭からも励ましの言葉や、見守りでご協力いただき、ありがとうございました。今後も生徒が自分自身と向き合い、自らを高めていけるよう、指導してまいります。



マネジメントシート

アンケート結果

項目	目標値	結果	評価	グラフ
1 自分の生活の実態に合ったマネジメントシートを作成することができる生徒の割合	80%以上	94%	A	<p>できた：51.2%</p>
2 マネジメントシートの目指す姿に近づくために努力したり、工夫をしたりすることができた生徒の割合	80%以上	89%	A	<p>できた：50.7%</p>
3 マネジメントシートの振り返りをして、自分の生活を見直すことができた生徒の割合	80%以上	92%	A	<p>できた：53.7%</p>

分析と今後の方針

すべての項目でA評価となりました。多くの生徒が自分の生活に向き合い、より高みを目指そうとしていることがわかります。今後さらに実効性を高めるためには、継続的に生活を振り返り、見直す機会を設けていくことや、学校と家庭とが連携を密にしながら生徒に声を掛けていくことが大切です。併せて、ご家庭でゲームやスマホ等のメディアとの付き合い方をお子さんと一緒に考えつつ、家族団らんの時間を大切にいただければ幸いです。